

令和元年度 第1回西淀川区教育行政連絡会議事要旨（淀中学校ブロック）

日時：令和元年7月1日（月）10:00～12:00

場所：淀中学校 校長室

出席者：（学校）淀中学校・大和田小学校・川北小学校・出来島小学校

（区役所）塩屋区長・横内学校教育支援担当課長・向井総務課担当係長

1 「小学校・中学校を支援する6本の柱」について

○区役所からの説明

区役所が行っている区内小中学校を支援する施策は、きらり☆にしよど4月号に掲載しました6本の柱です。それぞれの事業について、今年度実施しております事業の概要について説明

○意見交換要旨

・外国籍児童支援について

淀中：大阪市教育委員会事務局から外国語の児童や日本語による指導が難しい児童の照会がきている。日常生活で日本語が話せても学習における日本語ができないと、この照会に人数をあげなければならない。そこに気を付けて漏れのないよう回答する必要がある。

児童生徒の家庭環境は様々だと思うが、義務教育の最終地点である中学校の役割は子どもに今後生きていく道筋をつけてやることだと思っている。そのためには、必要な学習支援をして、高校へ行かせてやりたい。

区：これまで外国籍児童の多い南小学校に淀中学校や出来島小学校の日本語学習指導教員と視察し、教育委員会事務局へ支援を求めてきた。次年度の外国籍児童の支援事業につながるためにも、今年度は児童を抜き出して日本語学習指導を行うとともに、教員もいっしょに指導に入ることで研修を行うという形で実施してみたいか？

出来島小：当校では、外国籍児童については小学校1年生の初期の言語に関する教育に習って指導をしており、小学校の教員は比較的そういう点での経験値をもっているため、必要とする人材としては、日本語を教える資格の有無ではなく、個別に児童に学習指導を行うことができる教員免許を有する方である。しかし、すでに加配が1名ついている中でさらに増員、というのは難しいだろうとは思っている。予算の枠を頂けるなら、嘱託で非常勤講師を雇い、学習指導要領に沿った授業をできる教員免許を持った方を配置したい。「外国人のための相談窓口」のチラシをいただいたが、こういった窓口を区役所でやってもらえないか。外国籍児童の保護者が生活や教育支援、児童学習などよろず相談にのってくれる相談会を定期的に開催してもらえるとありがたい。

2 令和2年度「校長経営戦略予算（次長枠）」について

淀中：漢検を全小中学校で実施していただいているが、直接、入試や児童の学習評価に繋がる英検というもの次の一手かもしれない

大和田小：漢検については、希望制にした事により、予算定員を超えた場合の懸念など課題もあることから、次年度から区で統一的な基準で実施してもらったほうが良い。